



## 平成28年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ジェイグループホールディングス

コード番号 3063 URL <http://www.igroup.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新田 二郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 赤工 朝飛

TEL 052-243-0026

四半期報告書提出予定日 平成28年1月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年2月期第3四半期の連結業績(平成27年3月1日～平成27年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第3四半期	10,293	2.4	△81	—	△77	—	△296	—
27年2月期第3四半期	10,054	19.8	△43	—	△20	—	△56	—

(注) 包括利益 28年2月期第3四半期 △297百万円 (—%) 27年2月期第3四半期 △62百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第3四半期	△37.02	—
27年2月期第3四半期	△7.04	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
28年2月期第3四半期	8,298	1,710	20.5	212.88		
27年2月期	8,659	2,026	23.4	253.02		

(参考) 自己資本 28年2月期第3四半期 1,702百万円 27年2月期 2,023百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	1.00	—	1.50	2.50
28年2月期	—	1.50	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	1.50	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年2月期の連結業績予想(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,100	3.2	70	3.6	60	△39.8	△160	—	△20.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料4ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年2月期3Q	8,196,400 株	27年2月期	8,196,400 株
② 期末自己株式数	28年2月期3Q	200,035 株	27年2月期	200,035 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年2月期3Q	7,996,365 株	27年2月期3Q	7,996,400 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等が様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の金融政策や経済政策等により、企業収益の改善や賃金上昇の動きが見られるなど緩やかな景気回復基調で推移いたしました。物価の上昇や個人消費の停滞、海外経済の下振れリスクなど、先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、原材料価格の高騰に加え、人材不足やそれに伴うアルバイト時給の上昇など、人件費の増加傾向が続いており、引き続き厳しい経営環境となっております。

このような環境のもと、当社グループでは、人員の融通や店舗政策などを効率的に実施できるよう、従来は子会社毎に管理していた組織について指示系統を一本化し、営業組織の見直しを行いました。また、9店舗を新規出店し、2店舗を取得するとともに、6店舗をリニューアルオープン、9店舗を閉店いたしました。これらにより、平成27年11月末日現在の業態数及び店舗数は、62業態132店舗（国内131店舗、海外1店舗）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は10,293百万円（前年同期比2.4%増）と増収でありましたが、原材料価格の高騰及び人件費の増加を主因に、営業損失は81百万円（前年同期は営業損失43百万円）、経常損失は77百万円（前年同期は経常損失20百万円）となり、店舗閉鎖損失等の特別損失を計上した結果、四半期純損失は296百万円（前年同期は四半期純損失56百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① 飲食事業

原材料価格の高騰に対応するため、メニュー内容の見直し及び客単価の向上に取り組みました。また、リニューアルオープンや不採算店舗の閉店など、既存店の改善に注力いたしました。

主な新規出店といたしましては、平成27年3月に「SARU CAFE（サルカフェ）ラシック店」（名古屋市中区）、「芋蔵（イモゾウ）霞が関店」（東京都千代田区）、4月に「MANOA VALLEY CAFE（マノアバレーカフェ）」及び「ためつ食堂（タメツショクドウ）」（名古屋市中村区）、「たんと」（名古屋市中区）、10月に「大地の恵み（ダイチノメグミ）」（大阪府守口市）及び「結び菜（ムスビナ）」（神奈川県海老名市）、11月に「Mart（マート）」（千葉県船橋市）をオープンいたしました。

また、「九州うまかもん屋（キュウシュウウマカモンヤ）」（岐阜県各務原市）、「Mulberry St.（マルベリーストリート）」（大阪市北区）、「猿Cafe（サルカフェ）星ヶ丘店」（名古屋市中村区）、「鹿児島うまかもん市場（カゴシマウマカモンイチバ）」（名古屋市中村区）、「薩摩（サツマ）はやと」（京都市下京区）、「猿Cafe葵店」（名古屋市中東区）、「The Oyster House Koshigaya（ザオイスターハウスコシガヤ）」（埼玉県越谷市）、「TODOS（トドス）渋谷道玄坂店」（東京都渋谷区）、「芋蔵ヨドバシAKIBA」（東京都千代田区）を閉店いたしました。

主なリニューアルにつきましては、平成27年6月に「しゃぶしゃぶ謝々（シャシャ）まるmozoワンダーシティ上小田井店」（名古屋市中区）を「THE NEWYORK STEAK HOUSE（ザニューヨークステーキハウス）mozoワンダーシティ上小田井店」として、7月に「オッティモイオン東浦店」（愛知県知多郡東浦町）を「しゃぶしゃぶ彩菜（サイサイ）イオン東浦店」として、8月に「The Oyster Bar Nagoya（ザオイスターバーナゴヤ）」（名古屋市中区）を「DRY STADIUM（ドライスタジアム）」、「88 huithuit（ユイトユイト）静岡呉服町店」（静岡市葵区）を「どなんち静岡呉服町店」、9月に「88 huithuit mozoワンダーシティ上小田井店」（名古屋市中区）を「TRENCH食堂（トレンチショクドウ）」として、リニューアルオープンいたしました。

その結果、飲食事業における売上高は9,214百万円（前年同期比2.8%増）、営業利益は330百万円（同12.9%増）となりました。

## ② プライダル事業

「LUCENT Mariage Tower（ルーセントマリアージュタワー）」について、強みである高層階からの景観が名古屋駅周辺の開発工事により悪化しており、成約率が低下いたしました。その結果、プライダル事業における売上高は655百万円（前年同期比11.8%減）、営業利益は33百万円（同46.7%減）となりました。

## ③ 不動産事業

テナントビル「ダイヤモンドウェイ」や「G-SEVENS（ジーセブン）刈谷」などの賃貸収入に加え、前連結会計年度に開設したテナントビル「ジェイチル名駅」が収益に寄与いたしました。その結果、不動産事業における売上高は1,359百万円（前年同期比6.2%増）、営業利益は118百万円（同3.3%増）となりました。

## ④ その他の事業

広告代理業及び卸売業等のその他の事業における売上高は687百万円（前年同期比6.1%増）、営業利益は29百万円（同48.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は8,298百万円(前連結会計年度末比361百万円減少)となり、負債は6,587百万円(同45百万円減少)、純資産は1,710百万円(同316百万円減少)となりました。

流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ総額で299百万円減少し1,251百万円となりました。これは、現金及び預金が379百万円減少し、売掛金が21百万円増加したことなどが主な要因であります。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ60百万円減少し7,043百万円となりました。これは、店舗閉鎖等に伴い差入保証金が39百万円減少したことなどが主な要因であります。

繰延資産につきましては、株式交付費の減少を主因に、前連結会計年度末に比べ2百万円減少し3百万円となりました。

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ123百万円減少し2,759百万円となりました。これは、買掛金が159百万円、未払金が23百万円、未払法人税等が29百万円それぞれ減少し、短期借入金が67百万円、1年内返済予定の長期借入金が106百万円、それぞれ増加したことなどが主な要因であります。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ77百万円増加し3,828百万円となりました。これは、長期借入金が194百万円増加し、社債が36百万円減少したことなどが主な要因であります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ316百万円減少し1,710百万円となりました。これは、利益剰余金が四半期純損失の計上及び中間配当に伴い320百万円減少したことなどが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、営業利益70百万円(前年同期比3.6%増)、経常利益60百万円(同39.8%減)、当期純損失160百万円(前年同期は当期純利益28百万円)に修正いたしました。なお、売上高につきましては、平成27年4月10日公表の連結業績予想から変更はありません。詳細は、本日公表の「特別損失の計上及び業績予想の修正のお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	749,852	370,516
売掛金	381,352	402,421
商品及び製品	411	202
原材料及び貯蔵品	95,092	98,185
その他	334,820	395,488
貸倒引当金	△10,864	△15,205
流動資産合計	1,550,665	1,251,608
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,284,808	3,052,078
土地	1,632,852	1,774,733
その他(純額)	535,442	651,114
有形固定資産合計	5,453,103	5,477,927
無形固定資産	50,878	41,362
投資その他の資産		
投資有価証券	8,230	8,220
差入保証金	1,337,668	1,297,751
その他	260,838	220,506
貸倒引当金	△7,075	△2,675
投資その他の資産合計	1,599,661	1,523,802
固定資産合計	7,103,644	7,043,092
繰延資産		
株式交付費	2,853	1,141
社債発行費	2,787	2,205
繰延資産合計	5,641	3,346
資産合計	8,659,951	8,298,048

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	581,055	421,067
短期借入金	-	67,200
1年内返済予定の長期借入金	963,227	1,069,380
1年内償還予定の社債	46,000	46,000
未払金	790,486	767,106
未払法人税等	47,140	18,115
賞与引当金	-	17,826
その他	454,789	352,810
流動負債合計	2,882,699	2,759,507
固定負債		
社債	138,000	102,000
長期借入金	3,187,034	3,381,687
資産除去債務	67,241	70,419
その他	358,332	274,324
固定負債合計	3,750,608	3,828,430
負債合計	6,633,307	6,587,937
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,068,969	1,068,969
資本剰余金	998,969	998,969
利益剰余金	77,660	△242,393
自己株式	△76,021	△76,021
株主資本合計	2,069,577	1,749,523
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△46,371	△47,279
その他の包括利益累計額合計	△46,371	△47,279
新株予約権	3,438	3,438
少数株主持分	-	4,428
純資産合計	2,026,643	1,710,110
負債純資産合計	8,659,951	8,298,048



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
売上高	10,054,823	10,293,006
売上原価	3,097,819	3,220,847
売上総利益	6,957,003	7,072,159
販売費及び一般管理費	7,000,301	7,153,790
営業損失(△)	△43,297	△81,631
営業外収益		
受取利息	1,031	459
協賛金収入	64,574	66,285
設備賃貸料	4,558	7,740
為替差益	6,192	-
その他	7,522	16,551
営業外収益合計	83,879	91,036
営業外費用		
支払利息	50,888	55,941
賃貸費用	3,054	17,586
為替差損	-	3,188
その他	7,333	9,828
営業外費用合計	61,276	86,544
経常損失(△)	△20,694	△77,139
特別損失		
固定資産売却損	-	5,229
固定資産除却損	-	356
減損損失	-	62,969
店舗閉鎖損失	3,002	113,351
貸倒損失	-	1,000
特別損失合計	3,002	182,907
税金等調整前四半期純損失(△)	△23,696	△260,046
法人税等	32,580	36,018
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△56,277	△296,064
四半期純損失(△)	△56,277	△296,064

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△56,277	△296,064
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△6,143	△961
その他の包括利益合計	△6,143	△961
四半期包括利益	△62,420	△297,025
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△62,420	△296,973
少数株主に係る四半期包括利益	-	△52

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	飲食	ブライダル	不動産	計				
売上高								
(1) 外部顧客 への売上高	8,881,722	743,397	152,739	9,777,859	276,964	10,054,823	—	10,054,823
(2) セグメント 間の内部 売上高又は 振替高	82,224	—	1,128,138	1,210,363	370,923	1,581,286	△1,581,286	—
計	8,963,947	743,397	1,280,877	10,988,222	647,887	11,636,110	△1,581,286	10,054,823
セグメント利益 又は損失(△)	293,040	62,160	114,829	470,029	56,535	526,565	△569,862	△43,297

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告代理業や卸売業、有料職業紹介業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△569,862千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「飲食」セグメントにおいて、サンクスマインド株式会社の全株式を取得し子会社化いたしました。当該事象により発生したのれんの金額は、当第3四半期連結累計期間においては、36,737千円であります。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	飲食	ブライダル	不動産	計				
売上高								
(1) 外部顧客 への売上高	9,144,131	654,800	180,369	9,979,301	313,705	10,293,006	—	10,293,006
(2) セグメント 間の内部 売上高又は 振替高	70,103	903	1,179,595	1,250,602	373,958	1,624,560	△1,624,560	—
計	9,214,234	655,703	1,359,965	11,229,903	687,664	11,917,567	△1,624,560	10,293,006
セグメント利益 又は損失(△)	330,755	33,123	118,624	482,503	29,398	511,901	△593,533	△81,631

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告代理業や卸売業、有料職業紹介業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△593,533千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食」セグメントにおいて、ジェイプロジェクト、ディアジェイ、ジェイエイト、SARU、サンクスマインドの店舗閉鎖に係る構築物及び工具器具備品等について、当該資産の帳簿価格を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、62,969千円であります。